

◆リーダー電子：4K8K 衛星放送対応「シグナルレベルメーター LF965」を発売

リーダー電子（社長：長尾 行造）は、日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送（4K/8K 放送）、衛星デジタル放送（2K 放送）、および地上波 /CATV デジタル放送に対応したレベルメーター LF965 を発売した。

従来の衛星、地上波、CATV デジタル放送はもちろん、2018 年 12 月 1 日より本放送を開始した高度広帯域衛星デジタル放送のレベル、BER、MER、C/N、コンスタレーション測定が可能です。また地上波 /CATV 測定における受信周波数範囲が 10～1002MHz と高帯域に対応しているため、CATV の上り信号から 770MHz 以上の高域まで測定が可能。

本体表示部として視認性の高い高輝度 4 インチカラー TFT 液晶を搭載しておりますので、屋外の太陽光の下や室内の暗い場所など、さまざまな環境でのご使用が可能です。色による受信状態の判定が可能のため、受信状況を視覚的に確認することができます。LF965 は、以前から販売されていた LF990、LF51 の後継機にあたる。

■製品名：シグナルレベルメーター

■型番：LF965

■製品ページ：<https://www.leader.co.jp/products/rf/lf965/>

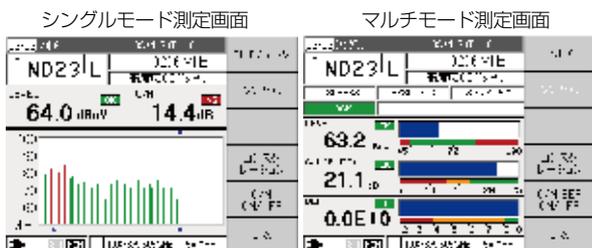
■発売開始：2019 年 3 月

■価格：オープン



LF965

※画面は高度広帯域衛星デジタル放送(4K/8K 放送)の 16APSK コンスタレーション、レベル、C/N、BER 表示



特長

- ・高度広帯域衛星デジタル放送（4K/8K 放送）対応
- ・地上デジタル放送、CATV デジタル放送、衛星デジタル放送の BER、MER 測定
- ・レベル、BER、MER 同時測定
- ・衛星放送共聴システムの C/N 測定
- ・CATV 1002MHz 対応
- ・コンスタレーション表示
- ・カラー TFT 液晶

◆製品についてのお問い合わせ◆

リーダー電子株式会社

横浜市港北区綱島東2-6-33 TEL(045)541-2122(代表)

関西営業所(06)6192-1152 URL:<https://www.leader.co.jp>

◆ティアック：TASCAM が「CP+2019」プロ向け 動画エリアに出展

新製品『DR-X シリーズ』や、動画音声収録用レコーダーを多数展示

ティアック株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：英裕治）は、2月28日（木）よりパシフィコ横浜にて開催されます、カメラと写真映像のワールドプレミアショー「CP+（シーピープラス）2019」内の動画機材展示コーナー「プロ向け動画エリア」に出展し、TASCAM（タスカム）ブランドのオーディオレコーダーを多数展示する。

CP+2019 では新製品の USB オーディオインターフェース搭載ステレオオーディオレコーダー『DR-X』シリーズを出展する。『DR-X』シリーズは DSLR カメラの他、iPhone 動画撮影用ステレオマイクとしても使用でき、簡単な高音質収録を実現した。その他、カメラとの HDMI 同期が可能なレコーダー『DR-701D』や、コンパクトで手軽に高音質収録ができるオーディオレコーダー『DR-10 シリーズ』など動画撮影に親和性の高い高音質オーディオレコーダーの試聴・展示を行う。

CP+2019 主な展示製品

USB オーディオ インターフェース搭載

ステレオオーディオレコーダー『DR-X』シリーズ

● DR-05X、DR-07X、DR-40X

●カメラ用リニア PCM レコーダー / ミキサー『DR-701D』

●ショットガンマイク搭載 カメラ用オーディオレコーダー『DR-10SG』

●ピンマイクレコーダー『DR-10L』

●インタビューマイク用 マイクロレコーダー『DR-10X』

製品ページ

『DR-X シリーズ』

<https://tascam.jp/jp/support/news/5868>

※ニュースページ『DR-701D』

<https://tascam.jp/jp/product/dr-701d/top>

『DR-10 シリーズ』

https://tascam.jp/jp/special/dr-10_series

出展概要

CP+（シーピープラス）2019 プロ向け動画エリア

<http://www.cpplus.jp/visitor/?event=041>

日時：2019 年 2 月 28 日（木）10：00～18：00

3 月 1 日（金）10：00～18：00

※プロ向け動画エリアの開催日（2 日間のみ）

※先行入場（2 月 28 日 10：00～12：00）時もプロ向け動画エリアへは一般入場可能。

会場：パシフィコ横浜 会議センター 3F 303・304

※メインの展示ホールとは会場が異なります。

アクセス（CP+2019 公式ページ）

<http://www.cpplus.jp/access/>

会議センターフロアガイド（パシフィコ横浜 公式ページ）

<http://www.pacifico.co.jp/visitor/floorguide/conference/tabid/204/Default.aspx>

◆朋栄：SECURITY SHOW 2019 出展概要

「確かな技術で安全を守る。」をテーマに、セキュリティ分野に欠かせない製品群を展示

株式会社朋栄(代表取締役社長:清原克明、本社:東京都渋谷区)は、来る2019年3月5日(火)～8日(金)まで、東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて開催される第27回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2019」(主催:日本経済新聞社)に出展する(東7ホール ブース No.SS7207)。

本年は「確かな技術で安全を守る。」をテーマとして継続し、セキュリティ分野に欠かせない「ONVIF® 監視」「画面分割」「画像鮮明化」「情報可視化」「大容量記録」に対応する各種ソリューションを展示する。IPカメラ対応 小型画面分割器 MV-16SIPをはじめ、映像に各種センサー情報をリアルタイムに合成できるリアルタイム合成装置 MBP-200TB2、ネットワークのない遠隔地から携帯回線を束ねて広帯域化して映像を伝送する Dejero 製品などを紹介する。

主な出展製品

1. ONVIF 監視

■ IP カメラ対応 小型画面分割器 MV-16SIP

IPカメラの映像をPCレスで最大16分割表示。IPカメラを最大64台まで認識し、ONVIF Profile S規格対応のIPカメラではパン/チルト/ズーム操作も可能。各映像にタイトル表示可能。MV-16SIP IO オプションにより、アナログコンポジット3系統の入力、アナログコンポジットおよびSDI出力などを増設でき、IPカメラを既設のアナログ/SDIのシステムや信号処理機器に活用可能。

2. 画面分割

■高機能画面分割器 MV-1200A シリーズ

3G/HD/SD-SDI、アナログコンポジット、HDMI、DVIの混入入力や、各種解像度の混入入力に対応。最大16入力・4系統6出力のモニタリングが可能で、監視カメラの映像や各種情報の表示などを自由にレイアウト可能。

3. 画像鮮明化

■ブレ補正装置 IVS-710HS

港湾、高速道路、橋上など振動の多い環境での撮影時に発生する映像のブレを、リアルタイムに除去可能。風や波の影響を排除して、監視業務を強力に支援。■画像鮮明化装置 Mimic-AFC/HD [フローベール製] 既存のモニタリング環境に後付けできる単体ユニットタイプ。霧や雨によりかすんだ映像や暗所の映像を補正して鮮明に表示。オートフォーカス機能も搭載。(※レンズの制限あり)

4. 情報可視化

■リアルタイム合成装置 MBP-200TB2

入力映像に、文字情報やグラフィックスをリアルタイムに描画可能。外部機器からのデータを受けて、映像上にテキストや画像をリアルタイムに表示。より視覚的に分かりやすい情報表示が可能。このコーナーでは、カメラタイトルや日時などの文字情報や、ロゴなどのグラフィックスを合成するソリューションも紹介。

5. 情報伝送

■映像伝送装置 Dejero PathWay [Dejero 製]

■映像受信装置 Dejero WayPoint [Dejero 製]

カナダ Dejero 社の映像伝送ソリューションを紹介。ネットワークがない遠隔地でも、PathWayにより複数の携帯回線を束ねて高品質なHD映像を伝送可能。WayPointは、複数回線で送られてくる映像を受信し、SDIに出力。1台のWayPointで、4台までのPathWayの映像を受信可能。データ転送用のGateWay Routerも展示予定。

6. 大容量記録

■LTO サーバー LTS-80

PCと本体をLANで繋ぐだけの簡単接続で、手のひらサイズのLTO-8テープに最大12TB(非圧縮時)のデータを保存可能。膨大な台数のカメラ映像、長時間におよぶ監視録画映像を、効率よく省スペースで保存・管理。外部制御SDK(ソフトウェア開発キット)の提供も可能。このほかにも各種関連製品を展示いたします。

※ ONVIFはOnvif, Inc.の登録商標。

【製品に関するお問い合わせ】株式会社朋栄 国内営業本部

TEL: 03-3446-3121 FAX: 03-3446-4451

e-mail: sales@for-a.co.jp

◆キャノン・キャノンマーケティングジャパン：小型・軽量のフルサイズミラーレスカメラ「EOS RP」を発売「EOS R システム」による高画質な写真や映像の撮影が可能

キャノンは、「RFマウント」を採用するカメラとして、小型・軽量でありながら、高画質な写真や映像の撮影が可能な35mmフルサイズCMOSセンサー搭載のミラーレスカメラ「EOS RP」を2019年3月中旬より発売。



EOS RP

* RF35mm F1.8 MACRO IS STM 装着時

“EOS RP”は、高画質な写真や映像の撮影を手軽に楽しみたいというニーズに対応し、35mmフルサイズCMOSセンサーを搭載した小型・軽量のミラーレスカメラです。RFレンズに加え、専用のマウントアダプター(別売り)を装着することにより、EFレンズやEF-Sレンズも使用できる。

■高画質で豊かな描写力と小型・軽量のボディを実現

・RFレンズ、有効画素数約2620万画素の35mmフルサイズ

CMOS センサーと最新の映像エンジン「DIGIC 8」の組み合わせにより、高画質で表現力豊かな撮影が可能。

- ・常用 ISO 感度 100 ~ 40000 を実現しており、室内や夜景などの暗いシーンでも低ノイズな撮影が可能。
- ・レンズの収差や回折などを補正する「デジタルレンズオプティマイザ」を搭載。最新の映像エンジン「DIGIC 8」の搭載により、連写速度が低下することなく使用できるため、連続撮影時※1でも RF レンズの性能を引き出すことが可能。また、補正に必要な RF レンズの情報を、“EOS RP” が自動的に認識。PC アプリケーションを介したレンズ情報の事前登録が不要。
- ・最高約 5.0 コマ/秒、サーボ AF 時最高約 4.0 コマ/秒※1 の高速連写が可能。
- ・大きさは約 132.5 (幅) × 85.0 (高さ) × 70.0 (奥行) mm、質量は約 485g で、キヤノンのレンズ交換式カメラ EOS シリーズのフルサイズセンサー搭載モデルにおいて、最小・最軽量を実現。

■多様なシーンに対応する「デュアルピクセル CMOS AF」

- ・各画素が撮像と位相差 AF の両方を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」と RF レンズの駆動・対応レンズ装着時は、撮像面の約 100% (縦) × 約 88% (横) の範囲※1 の測距エリアに対応。AF エリア任意選択時は、最大 4,779 ポジションからピントを合わせたい部分を選択できるため、自由な構図で撮影が可能。
- ・被写体の瞳を検出してピントを合わせる「瞳 AF」がサーボ AF、動画サーボ AF 時にも機能し、動きのある被写体にもピント合わせが可能。
- ・中央測距点では EV -5 を達成。暗い状況でも高精度なピント合わせを実現。

■幅広いユーザーに対応した優れた操作性と拡張性

- ・グリップの凸部を小型化しながらも、持ちやすく感じる形状を採用。カメラの小型・軽量を実現しながら、高いホールド性を実現。バリアングル液晶モニターや EVF と合わせ、さまざまな撮影スタイルに対応。
- ・バリアングル液晶モニターは、タッチ操作にも対応しており、撮影時における操作性や撮影アングルの自由度など高い実用性を確保。
- ・視野率約 100% の高精細 EVF を内蔵。約 236 万ドットの有機 EL パネルを採用することで、周辺部まで高い解像感を確保。
- ・カメラ初心者にも分かりやすく親しみやすい配色とデザインの UI (ユーザーインターフェース)「ビジュアルガイド」を採用。各撮影モードの効果を、簡易な説明や写真、視覚的な表現により分かりやすく表示。好みに応じて従来の UI への切り換えも可能。
- ・自分好みの撮影設定ができる「クリエイティブアシスト」は、ワンタッチで簡単に起動でき、カメラの基礎知識がなくても自分好みの画作りが可能。また、RAW 形式で撮影したデータは、撮影後でも再生モードから編集可能。

■手ブレ補正と多彩な撮影機能

- ・高精度にブレを検知し、効果的に補正する「デュアルセンシング

IS」を採用。レンズのジャイロセンサーに加え、撮像センサーの画像情報からもブレ情報を取得することで、ジャイロセンサーが検出できなかった低周波の揺れも高精度に検知し、最適な補正が可能。ブレ検出のアルゴリズムの進化により、静止画撮影時は最大 5 段の手ブレ補正効果を実現。

- ・キヤノンで初めて、複数の撮影画像から広い範囲でピントの合った画像を生成することができる「フォーカスブラケット」※4 機能を搭載。被写界深度が浅いマクロ撮影時で、被写体の全体または特定の範囲を高精細に記録したいときや奥行のある被写体を手前から奥まで高精細に記録したいときに有効。

■快適な動画撮影を実現する EOS MOVIE

- ・3840 画素 × 2160 画素の 4K (24p/25p) での動画撮影が可能。
- ・カメラ内での 5 軸電子手ブレ補正機能を搭載※2。さらに対応レンズ※3 装着時には、カメラ側の電子手ブレ補正とレンズ側の光学手ブレ補正を協調制御する「コンビネーション IS」が利用可能。不安定な体勢や歩きながらの撮影でも、ブレの少ない映像表現を実現。

<主なアクセサリ (別売り) >

■エクステンショングリップ EG-E1

- ・カメラの底面に装着することにより、手の大きなユーザーや望遠レンズ使用時もしっかりグリップでき、ホールド性が向上。
- ・延長グリップとしてキヤノンで初めてのカラーバリエーションを展開。カメラ本体の外観を手軽にコーディネートすることが可能。
- ・装着したままでバッテリーおよび SD カードの交換が可能。
- ・三脚ねじ穴を装備しているため、装着したまま三脚が使用可能。

製品名：エクステンショングリップ EG-E1 (ブラック/レッド/ブルー)

希望小売価格 (税別)：9,500 円

発売日：2019 年 3 月中旬

新製品の参考価格

価格：オープン価格 (共通)

発売予定日：2019 年 3 月中旬 (共通)

参考価格※キヤノンオンラインショップ販売予定価格

※参考価格はキヤノンオンラインショップ (キヤノン直販ウェブサイト) における 2019 年 2 月 14 日時点での販売予定価格であり、各販売店での価格を拘束するものではありません。各販売店での価格は各店にお問い合わせください。

製品名：参考価格

EOS RP・ボディー：160,500 円

EOS RP マウントアダプターキット 180,500 円

EOS RP・RF35 MACRO IS STM レンズキット 219,500 円

EOS RP・RF35 MACRO IS STM マウントアダプターキット 239,500 円

EOS RP (ゴールド) マウントアダプター SP キット 189,500 円

EOS RP (ゴールド)・RF35 MACRO IS STM マウントアダプター SP キット 248,500 円

● 問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター (デジタル一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/交換レンズ) 050-555-90002

◆ビジュアルテクノロジー：放送・映像制作向け 4K/8K ハイエンド映像編集ワークステーション： TRUX 5 機種の販売を開始

未体験の快感、未体験のパフォーマンス

ビジュアルテクノロジー株式会社(本社：東京都台東区、代表取締役社長 川股 敦)は、Intel Xeon Gold6000、Silver4000ファミリーを搭載した映像編集ワークステーション：TRUX 5 機種を発売した。

リリースする製品は、Intel Gold6000シリーズ、Silver4000シリーズを2基搭載し、ECC Registered メモリ、M.2 NVMe (M.2 : Type2280)、プロフェッショナル向け GPU (Quadro シリーズ) を搭載している。4K、8K など、革新が進む映像編集の分野において、編集作業、レンダリングにかかる時間の短縮化は、編集作業の効率化に大変重要なファクターとなっている。また、機械学習、ディープラーニングのビジネス利用への取り組みが、急速に広がるつつある。画像認識や分析においても同様に、大容量化するデータ処理環境の整備といったニーズにも応える。としている。

同社は、大手メーカーでは、対応が難しい少ロットのオーダーメイドに対応しており、ユーザーにとって、価値ある製品やサービスを開発/提供しているとしている。

< 参考 >

TRUX を実際に使用した感想を紹介。

株式会社デジタルアルティザン 3D ディレクター 小野正晴氏
「解析やシミュレーションに強いPCですね！前職は大手ゲーム会社ということもあり、そこそこ速いマシンを使っていましたし、自宅で使っているのも市販のゲーミングマシンですがハイスペックな仕様です。これらのマシンと比較しても TRUX STANDARD はダントツに速いですね。」

株式会社スーパー・ブレイン NEX プロデューサー 宮崎 哲朗 氏
「正直、もの凄く速くて驚きました。私は、インタビューや会話などの素材が多いTV番組の制作やディレクションを担当しています。その番組の中から4Kで撮影された映像データをTRUX STANDARDで編集しました。素直な感想から言うと、ものすごく速かったです。」

TRUX 販売サイト <https://trux.shop-pro.jp/>

TRUX 紹介サイト <https://www.trux.tokyo/>

◆ TRUX ワークステーション 製品体系リニューアルのお知らせ

ビジュアルテクノロジー株式会社は、ニーズに幅広く対応するため、プロ用映像編集制作ワークステーション：TRUX ワークステーションの製品体系をリニューアルした。

新しい TRUX ワークステーションの製品体系は以下の通り。全機種カスタマイズが可能。

TRUX SEPER MAX TypeE : AMD EPYC CPU 2 個搭載モデル

TRUX SEPER MAX TypeG : Intel Xeon Gold CPU 2 個搭載モデル

TRUX MAX : Intel Xeon Silver CPU 2 個搭載モデル

TRUX STANDARD : Intel Xeon Silver CPU 2 個搭載モデル

TRUX WISE Type7551P : AMD EPYC7551 CPU 1 個搭載モデル

TRUX WISE Type7351P : AMD EPYC7351 CPU 1 個搭載モデル

TRUX SMART Type2990WX : AMD Ryzen Threadripper 2990WX CPU 1 個搭載モデル

TRUX SMART Type2990WX : AMD Ryzen Threadripper

2950X CPU 1 個搭載モデル

TRUX NIMBLE Type9960X : Intel Core i9-9960X CPU 1 個搭載モデル

TRUX NIMBLE Type9800X : Intel Core i7-9800X CPU 1 個搭載モデル

製品リニューアルにあたり、全機種にわたりカラーグレーディング、ディゾルブが快適に動作するCPUを厳選、上位機種については、4K映像編集におけるリアルタイム再生時におけるコマ落ちが極小化可能な構成とした。

また、ファイルI/Oによる律速を極小化するため、ストレージの構成についてITGマーケティング株式会社様協力の下、全機種システム用ストレージにSamsung SSD「970 EVO」500GB M.2 NVMe (512MB LPDDR4 キャッシュ付き)を標準装備いたしました。データ用ストレージも標準装備の2TB SATA HDDから、M.2 NVMe、HighPoint SSD PCIe RAID (970 EVO ※×4基搭載)、が拡張できるようにした。

※要望に応じて250GB～2TBの容量を搭載

新しいTRUXワークステーションの詳細についてはTRUXサイトをご覧ください。

ビジュアルテクノロジーについて

ビジュアルテクノロジーは、大手製造業・国公立大学・国公立研究機関向けにHigh Performance Computing(HPC)およびAI(とりわけDeep Learning)用の高性能コンピュータの製造販売、レンタルおよびシステム構築をメインに事業展開している。

目的や用途にあわせて、x86/POWER高性能サーバーの提供、大規模CPU/GPUクラスタシステムの構築、高性能大容量ストレージシステム(NAS、GPFS、Lustre等)の構築、InfiniBandによる高速ネットワークシステム構築など最適なソリューションを提供している。

映像分野に対するビジネスは創業当時より継続しており、社名は創業当時の映像分野へのビジネスの思い入れを象徴している。

※記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標。

<製品・サービスに関する問い合わせ先>

ビジュアルテクノロジー株式会社 イノベーション&マーケティング
統括部 TRUX 担当：田口

TEL : 03-6823-6789 E-mail : turx@v-t.co.jp

<https://www.v-t.co.jp/>